

授業科目	現代産業論		
担当教員名	市川 昌史		
対象学年	1		
開講時期	第1・第2学期		
曜日・時限	前期 木曜日 3時限 13:15~14:45		
単位数	2		
対象学科	事業創造学部		
必修・選択	必修		
時間数	30		
概要	<p>本講義は企業の経営者やリーダー、官公庁出身者の方々をゲストに招き、様々な産業における当事者の話を聴き、グループワークを通して産業の理解を深める。戦後、日本の産業は、円高、コスト高、通商摩擦、新興国の台頭などの逆風に晒されながらも、一定の競争力を維持してきた。その背景には、海外投資、経営統合、技術革新などの分野において、弛まぬ努力があったためであるといえよう。本講義では、食品、農業、自動車、情報通信など、代表的な産業を事例に挙げながら、これまでの環境変化や変革のプロセスについて学修する。☒</p>		
学習目標	<p>1.各産業の外観やビジネスモデル、トピックスについて理解する。 2.各産業の方向性を自分なりにロジカルに考えることができる。 3.グループワークなどを通じて自らの感想や意見を出し、発表や質問することに慣れる。</p>		
単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス	2・3	講義
2	小売	1・2・3	講義
3	自動車	1・2・3	講義
4	ホテル・飲食	1・2・3	講義
5	システム	1・2・3	講義
6	建築・不動産	1・2・3	講義
7	情報通信	1・2・3	講義
8	石油	1・2・3	講義
9	コンテンツ	1・2・3	講義
10	金融業（銀行）	1・2・3	講義
11	総合商社	1・2・3	講義
12	農業	1・2・3	講義
13	食品	1・2・3	講義
14	DX（IT業界）	1・2・3	講義
15	日本の産業構造について・まとめ	1・2・3	講義
使用図書	説明		

指定教材 (教科書 等)	教材は各講師より配布予定
参考教材 (参考書 等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の動向とカラクリがよく分かる本(産業毎に販売), 産業毎に専門家が執筆, 秀和システム, 1冊1500円程度</li> <li>・産業のしくみとビジネスがしっかりわかる教科書(産業毎に販売), 産業毎に専門家が執筆, 技術評論社, 1冊1500円程度</li> <li>・日経業界地図(産業毎に販売), 産業毎に専門家が執筆, 日経BP 日本経済新聞出版, 1冊1500円程度</li> </ul>
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義中にわからない用語がでてきたら、すぐに調べることが大切です。「わからないことはすぐ調べる」クセをつけましょう!</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各回における授業内課題ワークシート(100%)</li> </ul>
履修上の留 意点	